

保護者のみなさま

令和4年7月21日

大阪市立市岡小学校
校長 中谷 和博

夏休みの安全な生活について

昨日、児童が夏休みのくらしを持ち帰りました。

「夏休みのくらし」のタイトルの下には、「お家のひとといっしょに読みましょう」と書いてあります。必ず、いっしょにお読みください。

現在、子どもたちの周囲には、多くの危険が潜んでいます。特に、子どもたちが日常的に使っている、スマホ・タブレット・ゲーム機など、インターネットで外の世界とつながっている機器においては、SNSを媒介として、以下のような危険なことが実際に起こっています。

港区内各小中学校でも、問題意識をもって気をつけるようにしています。

夏休みは、小学生が中学生や高校生などとも接点を持つこともあります。

保護者のみなさまも、お子さんの行動には細心の注意を払っていただきたいです。被害にあうのは女子・男子を問いません。ご注意ください。



【こんなことがあります。気をつけましょう】

学校の友だちではない、友だちとつながっているつもりだったけど…

・実は相手が「大人」で、言葉巧みに「写真」を送ってほしいと言ってきた。要求は次第にエスカレートして、下着姿の写真を送ってほしいと言ってきた。相手からも送ってきたので、断り切れず送ってしまった。

・SNSで知り合った「大人」と会う約束をしてしまった。動画や写真を撮影され、それが世界中に出回ってしまった。

・会話の中で、「おいしいお菓子があるよ」「試しに食べてみて」などと言われて、送られてきたものが違法なものだった。「もう手を出したから犯罪だよ」と言われて、こわくなり断り切れなくなってしまった。

・何気なく「友だち募集」をしてみたら、1~2週間でコンタクトをとってきた「友だち」は1000名以上。そのほとんどが悪意のある大人で、毎日執拗に誘われてしまった。

同じ、小学生だから安心と思っていたけれど…

- ・数名でしているグループLINE、ちょっとした話の食い違いから、みんなから一斉に誹謗中傷され、いじめの対象になってしまった。さらにリアルな生活でも、仲間外れにされました。
- ・いじわるをしている現場を見て注意したら、自分がLINEグループ内でいじめられました。
- ・ゲームをしていて相手に勝ちたいと思い、親のカードを使って高額課金してしまった。やがてそのアカウントとカード情報が外部に漏れ、どこの誰だか知らない人に多額のお金を使われました。

夏休み前に5年生は、「SNSの使い方教室」を行いました。学習後の感想に、お家でそれなりに取り組んでいただきたいことが書いてありましたので、いくつか紹介します。

- ・インターネットにのっている情報は、すぐに信じないようにしようと思った。
- ・利用規約を、これからはしっかりと読もうと思った。
- ・SNSで知らない人と会話しないようにする。
- ・しっかり親と相談して、ゲームなどをしないといけないと思った。
- ・SNSなどは、うそを発信できるので、きちんと見てうそか本当かを見分ける。
- ・知らない人とは、SNSあまり仲良くならない。変なことに巻き込まれない。
- ・たった一言で相手を傷つけないように気をつける。
- ・人にはばれないと思って、友だちの悪口を言ったり、個人情報を流したりするのはいけないと改めてわかった。
- ・知らない人の言っていることを、信用してはいけないと思った。
- ・ゲームやアプリには年齢制限があるから、ちゃんと親と相談しようと思った。
- ・お家人と相談して、ルールを決めるのはいいことだと思った。



相談先：

子供の人権110番：0120-007-110

警察相談ダイヤル：#9110

ニセモノを買わされた？消費者相談：188

性犯罪被害相談電話：#8103

IHC - インターネット・ホットラインセンター

<https://www.internethotline.jp/>

誹謗中傷ホットライン

<https://www.saferinternet.or.jp/bullying/>

リベンジボルノの被害にあわれたら

<https://www.safe-line.jp/against-rvp/>